

AMDA 難民支援開始

パキスタン
西部クエッタ

【クエッタ（パキスタン西部）11日共同】日本の非政府組織（NGO）のAMDA（本部岡山市）がパキスタン西部クエッタで、アフガニスタン難民の医療支援を本格的に

始め、活動の拠点とする難民専門のジャメシヤフア病院で十一日、医薬品や医療用具の贈呈式を行った。

今年九月の米中枢同時テロ以降、日本のNGO

がパキスタン西部で難民の医療支援を行うのは初めて。

AMDAは十一月末から活動を始め、同病院にパキスタン人医師と日本人看護婦を派遣し医療支援をしているほか、クエッタ周辺の難民キャンプへの移動診療をしている。

これまではクエッタ周辺の治安に問題があり、NGOの活動範囲も限られ、難民が医療を受けにくい状況が続いていた。同病院のイシユアク院長は「難民の医療へのアクセスが容易になった」と感謝した。

AMDAが支援する診療所で診察を待つアフガニスタン難民の母子＝11日、クエッタ（共同）

